



平成 21 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社ホロン
代表者名 代表取締役社長 穴澤 紀道
(JASDAQ・コード 7748)
問合せ先 取締役総務部長 加藤 邦彦
電 話 03-3341-6431

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、平成21年5月12日発表の平成21年3月期決算短信において、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社は、半導体製造プロセスで使用されるマスク上の回路寸法を電子ビームによって測定する装置の開発・製造・販売を主たる業務としておりますが、売上高の著しい減少により、継続して営業損失及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上したことから、平成19年3月期決算短信以降、平成21年3月期第3四半期決算短信まで「継続企業の前提に関する注記」の記載をしておりました。

当社は当該状況を解消すべく、主力製品であるマスク用電子ビーム微小寸法測定装置の性能アップによる競争力の強化、保有技術を応用した新製品の事業領域(LED市場)への投入、そして、製品のラインアップの充実を図る共同開発の3点を柱に、売上増加、損益の改善を図ることを計画し実行してまいりました。

その結果、性能アップに成功したマスク用寸法測定装置は、大手半導体デバイスメーカーの評価を得て受注獲得に至り、販売計画は1～2ヶ月の遅れが生じたものの、受注活動は順調に推移し始めました。平成22年3月期の売上計画におきまして、期ずれした案件の検収完了や順延している商談の成立目処がたっていることから当期純利益の黒字化が見込め、継続的な業績の向上を実現する見通しがたちました。

また、資金面につきましても、当社と主要株主である株式会社エー・アンド・デイとの間で運転資金の融資を目的とした契約締結を行っているため、当面の事業展開における資金面での支障はないと考えております。

上記により、平成21年3月期決算短信において当該注記の記載を解消いたしました。

今後も当社は業績の向上に努めてまいりますので、引き続きご支援の程、何卒よろしくご願い申し上げます。

以上